令和６年度(令和５年分)の給与支払報告書の記載方法等について

１　提出方法と注意事項

○　給与支払報告書は、１人につき**１枚**を各市区町村（受給者の令和６年１月１日現在の住所地の市区町村）に提出してください。提出期限は令和６年１月３１日です。

○　年の途中で退職された方についても、退職時の住所地の市区町村に給与支払報告書を提出してください。

○　提出の際、「富山市役所提出用総括表」を添付してください。給与支払報告書の作成を会計事務所等に委託している場合も、必ず富山市役所提出用総括表を使用して提出するよう依頼をお願いします。

○　普通徴収対象者分は普通徴収切替理由書を添付し、給与支払報告書の摘要欄に普通徴収に該当する理由の符号（下記の表参照）を記載し、特別徴収対象者分と区別して提出してください。普通徴収該当理由の記載がない場合は、特別徴収となりますのでご注意ください（エルタックスで提出の場合は、普通徴収の欄にチェックし、摘要欄に該当する理由の符号を必ず記載してください。普通徴収切替理由書の添付は不要です）。

符号	普通徴収切替理由
普A	給与等の支払が常時二人以下の家事使用人のみに対してしかない
普B	他の事業所で、特別徴収を行っている
普C	給与が少額で、特別徴収税額の天引きができない
普D	給与の支払が不定期（休職（予定）者含む）
普E	退職又は退職予定

○　乙欄該当（従たる給与を受けている方につき、原則「普B」該当となります）で特別徴収を希望する方は、 摘要欄に「特別徴収」と記載の上、特別徴収に区分してください。

○　前々年中（令和４年中）に税務署へ提出すべきであった源泉徴収票の枚数が１００枚以上である場合には、令和６年中に提出する給与支払報告書はエルタックスまたは光ディスク等により提出する必要があります。

○　個人事業主の方が給与支払報告書を提出される際には、個人事業主本人の個人番号の記載と、番号・身元確認書類の提示等が必要になります。 確認書類は下記のとおりです。

番号確認書類 （個人事業主の個人番号を確認できる書類）	身元確認書類 （窓口に届出される方の身元確認書類）
・マイナンバーカード　・通知カード ・住民票の写し（個人番号の記載があるもの） などのうちいずれか一つ	・マイナンバーカード ・運転免許証・身体障害者手帳 ・パスポート・在留カード　などのうちいずれか一つ

※通知カードは令和２年５月25日に廃止されていますが、通知カードに記載された氏名、住所などが住民票に記載されている内容と一致している場合に限り、引き続き番号確認書類として利用できます。

２　記載方法等の注意事項

（１）個人番号、法人番号について

受給者、扶養親族、支払者等の個人番号又は法人番号を記載してください。

（２）前職分について

前職分を合算している場合は、摘要欄に前職分の支払者名、退職年月日、合算額等を記載してください。

（３）受給者の情報について

住所及び個人番号、氏名のフリガナ、受給者生年月日は本人を特定するため大変重要な項目ですので、漏れのないよう正確に記載してください。

（４）再提出について

再提出される場合には、余白に「再提出」と必ず朱書きしてください。

※詳細については、裏面の記載例をご覧ください。

裏面へ

○エルタックスのお知らせ

地方税の電子申告を行うには　エルタックス　eLTAX

富山市では、エルタックスによる給与支払報告書の受付（データによる受付）も行っております。
セキュリティ面での優位性が高く、媒体管理・郵送費等が不要であり、全国統一のファイル形式で運用されているエルタックスによる提出についても、ご検討くださいますようお願いいたします。詳細は、エルタックスＨＰをご覧ください。　　エルタックスＨＰアドレス　https://www.eltax.lta.go.jp/

〈記載例〉 妻：富子、19歳の長男(太郎)、16歳の長女(花子)、14歳の次男(二郎※二郎は同居特別障害者)を扶養している場合

① ⑥ 給与支払報告書（個人別明細書）

※	※種別	※整理番号	※

支払を受ける者	住所	※区分	富山市総曲輪１番地７ ②	(受給者番号)	(個人番号) 1111 1111 1111	(役職名)	
				氏名	(フリガナ) オツヤマ イチロウ 乙山 一郎		

種別	支払金額	給与所得控除後の金額（調整控除後）	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与・賞与	内 8 千 970 円 000	6 千 973 円 000	4 千 032 円 171	内 108 千 700 円

(源泉)控除対象配偶者の有無等 有	従有	老人	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。) 特定	老人	従人	その他	従人	16歳未満扶養親族の数	障害者の数(本人を除く。) 特別	その他	非居住者である親族の数
○			千 380 円 000	1 人	内 人	従人	1 人	従人	1 人	1 内 人	人	人

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
内 1310 千 846 円	98 千 325 円	3 千 000 円	90 千 000 円

(摘要)

③ 普D

④ 前職分（○○商事㈱：令和５年３月３１日退職）支払金額2,500,541円　社保328,243円　源泉徴収税額38,588円

⑤

生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	58,410 円	旧生命保険料の金額	123,620 円	介護医療保険料の金額	61,300 円	新個人年金保険料の金額	13,000 円	旧個人年金保険料の金額	円

⑥

住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除摘用数	1	居住開始年月日(1回目)	H 28 年 5 月 10 日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住(特)	住宅借入金等年末残高(1回目)	9,000,000 円
	住宅借入金等特別控除可能額	90,000 円	居住開始年月日(2回目)	年 月 日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)	円

(源泉・特別)控除対象配偶者	(フリガナ) オツヤマ トミコ	区分	配偶者の合計所得 円	国民年金保険料等の金額 円	旧長期損害保険料の金額 円
氏名	⑦ 乙山 富子			基礎控除の額 円	所得金額調整控除額 47,000 円
個人番号	2222 2222 2222				

控除対象扶養親族			区分	16歳未満の扶養親族			区分	5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号
1	(フリガナ) オツヤマ タロウ			1	(フリガナ) オツヤマ ジロウ			⑦
	氏名	乙山 太郎			氏名	⑦ 乙山 二郎		
	個人番号	3333 3333 3333			個人番号	5555 5555 5555		
2	(フリガナ) オツヤマ ハナコ			2	(フリガナ)			
	氏名	乙山 花子			氏名			
	個人番号	4444 4444 4444			個人番号			
3	(フリガナ)			3	(フリガナ)			5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号
	氏名				氏名			
	個人番号				個人番号			⑦
4	(フリガナ)			4	(フリガナ)			
	氏名				氏名			
	個人番号				個人番号			

未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人が障害者 特別	その他	寡婦	ひとり親	勤労学生

中途就・退職					受給者生年月日			
就職	退職	年	月	日	元号	年	月	日
○		5	4	1	② 昭和	50	9	8

支払者	個人番号又は法人番号	1234 5678 9012 3 (右詰で記載してください)
	住所(居所)又は所在地	富山市新桜町７番３８号 ⑧
	氏名又は名称	甲海商事株式会社　(電話) 076－443－2033

Ｒ５年分の提出から適用される主な変更点

(1)退職手当等の支払を受ける一定の配偶者又は扶養親族がいる場合、摘要欄に氏名等、「５人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄にマイナンバーを記載してください。

※対応関係が分かるように記載をお願いします。

(2)控除対象配偶者又は控除対象扶養親族が非居住者の場合、区分欄に(○、01～04)を記載してください。

配偶者			○
扶養親族	16～29歳、70歳～		01
	30～69歳	留学生	02
		障害者	03
		生活費又は教育費のため38万円以上送金	04

詳しくは、国税庁ＨＰ「令和５年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」又は総務省ＨＰの記載要領をご覧ください。

国税庁ＨＰ

総務省ＨＰ

【記載方法及び注意点】

① ⑥と記載のある様式を使用してください。過去の様式（⑤、④等）は、使用しないでください。

② 受給者の住所・個人番号・氏名（フリガナ）・生年月日は必ず記載してください。
令和６年１月１日現在において富山市以外に住所を有する場合は、その該当する市区町村へ提出してください。

③ 普通徴収対象者の場合は、摘要欄に普通徴収該当理由の符号（普Ａ～普Ｅ）を記載してください。

④ 前職分を合算して報告する場合は、摘要欄に前職分の支払者名、退職年月日、合算額等を記載してください。

⑤ 生命保険料の控除額を記載する場合は、各種支払保険料の金額を記載してください。

⑥ 住宅借入金等特別控除額がある場合は、住宅借入金等特別控除可能額・居住開始年月日等を記載してください。
※住宅借入金等特別控除の適用を受けるには、初年度は必ず確定申告をしていただく必要があります。

⑦（源泉・特別）控除対象配偶者、控除対象扶養親族、16歳未満の扶養親族（平成20年１月２日以後生）がいる場合、氏名(フリガナ)・個人番号を記載してください。５人目以降の扶養親族の氏名は摘要欄、個人番号は個人番号欄に記載してください。

⑧ 支払者の個人番号又は法人番号を記載してください。また、個人事業主の場合は、屋号・事業主氏名両方を記載してください。